

講座 前期カリキュラム (予定)

毎週月・水・金 18時半～21時頃

	月		水		金	
6月	20	オリエンテーション	22	休み	24	からだと表現 若林こうじ
	27	朗読 伊藤克	29	遊び 大洞弘幸	1	音楽 菊地大成
7月	4	伝統芸能を学ぶ	6	からだと表現 若林こうじ	8	遊び 大洞弘幸
	11	人形劇 永野むつみ	13	からだと表現 若林こうじ	15	音楽 菊地大成
	18	休み	20	からだと表現 若林こうじ	22	特別講義
	25	特別講義	27	特別講義	29	特別講義
	1	特別講義	3	特別講義	5	特別講義
8月	8	特別講義	10	休み	12	休み
	15	休み	17	休み	19	休み
	22		24	休み	26	劇作講座 西田豊子ほか
	29	人形劇 友松正人ほか	31	遊び 大洞弘幸	2	音楽 菊地大成
9月	5	朗読 伊藤克	7	ボイストレーニング	9	Acting 大谷賢治郎
	12	身体⑥ 1原田	14	身体⑧ 2原田	16	音楽 菊地大成
	19	朗読 伊藤克	21	人形劇 佐藤達雄	23	遊び 大洞弘幸
	26	人形劇 山田俊彦	28	伝統芸能を学ぶ	30	劇作講座 西田豊子ほか
10月	3	ボイストレーニング	5	伝統芸能を学ぶ	7	劇作講座 西田豊子ほか
	10	Acting 大谷賢治郎	12	人形劇 友松正人	14	音楽 菊地大成
	17	朗読 伊藤克	19	劇作講座 西田豊子ほか	21	遊び 大洞弘幸
	24	音楽 菊地大成	26	朗読 伊藤克	28	中間発表 音楽 朗読 ほか

赤＝俳優実践に関する講座 青＝音楽に関する講座 緑＝身体に関する講座 紫＝人形劇に関する講座

カリキュラム一部紹介

<p>遊びから表現へ 大洞弘幸(おおまひろゆき) 劇団風の子付属児童演劇研究所講師・演出 【概要】さまざまな遊びを展開しながら、芝居の表現の可能性を探る講座です。</p>	<p>俳優基礎訓練 大谷賢治郎(おおたにけんじろう) company ma 主宰。演出家。アシテジ日本センター理事。桐朋芸術短期大学非常勤講師。 【概要】重心、方向性、緩急、高低、距離、関係性などを意識化する俳優の基礎訓練。</p>
<p>劇作講座【講師】西田豊子、いずみ凛、嶽本あゆみ、叶雄大、西上寛樹 【概要】作家コースと俳優コースのどちらも必要な講座です。作家コースの参加者のアイデアを俳優コースの俳優達と共にディスカッションや「インプロ」～即興表現を交えて具体化しながら、綿密に構成を組み立て、執筆へ…。最終回はその熱い成果をリーディングで発表します。未来の児童演劇を担う人材育成を目指して。</p>	<p>からだと表現 若林こうじ(わかばやしこうじ) 西田堯舞踊団ダンサー20年、初期仮面ライダーショーショーッカー歴15年、日本舞踊客演20年、太鼓と芝居のたまご座振付出演30年、劇団風の子劇作スタッフ・トレーナー10年。1983年度日本児童演劇協会個人賞受賞。民族楽器パフォーマー。中国武術八卦掌の研究。 【概要】ウォーミングアップの日常化の方法を身に付ける。心とからだの柔軟性を考え合う。人と人との間と気迫を稽古。即興太鼓演奏と即興身体表現など。</p>
<p>音楽 菊地大成(きくちたいせい) 国立音大大学院卒。ピアニストとしての演奏活動の傍ら、同大附属中高にて後進の指導にあたる。劇団風の子「くまの子ウーフ」、劇団東京演劇アンサンブル「はらつばのおはなし」、アート企画陽だまり「空の村号」、他の音楽を担当。2006年から15年まで国際児童演劇研究所の音楽講師を務める。 【概要】音楽の授業では歌・楽器・創作をやりようと思っていますが、練度や完成度よりも大切にしたいのは、「遊び」を通して育まれる豊かな関係性、そしてそこから瞬間的に生まれる音楽の種です。それをみんなで見出し、どこまでも大事に育てられたら…と考えています。どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>フィジカルシアター トレーニング 原田亮(はらだりょう) 20歳にロンドンへ演劇留学。その後サンフランシスコ州立大学芸術学部演劇学卒業。帰国後は大谷賢治郎氏と共にcompany maを設立し、子供から大人まで楽しめる作品創造。国内外でアジア・ヨーロッパなどで上演やコラボレーションもおこなっている。 【概要】舞台の上で輝きなやかで強靱な身体表現とは。表現者としてのカラダ作りと発見。そしてディバイジング(創作)活動の探求。</p>
<p>人形劇【予定講師】くすのき燕、栗原弘昌、佐藤達雄、友松正人、永野むつみ、中村孝男、山田俊彦、渡辺真知子ほか 【概要】モノが生きているように見えるのは、モノの動きの中に意図を感じるから。モノの形、ポーズ、空間の切り取り方に、意味を見出すから。モノに目を発見し、視線＝注意している方向を共有して、モノの気持ちを想像するから。「非言語表現ツール」は、あらゆる演劇にとって重要なものです。児童演劇においては、特に有効なものです。具体的な人形劇の表現ツールを体験することから、演劇的表現についての感覚を深めたいと思います。</p>	<p>戯曲研究 西上寛樹(にしがみひろき) 劇作家。人形劇団ひとみ座を経てフリーへ。劇団修行時代、戯曲研究会を主宰しA4二百枚に渡るレポートを作成し「分析野郎」の異名をとる。特に演劇の時間配分への洞察はしつこく、周りからは「あいつは舞台ではなくストップウォッチを見ている」という陰口を叩かれていたが、実はすぐ泣く感動屋である。 【概要】「戯曲を読む」という作業を演劇家として実践的にとらえたい。やがて迎える観客の前で「その戯曲をいかに立ち上げるべきかを知る」ということです。戯曲の主題、構造、人物の相関関係、時間配分などについて理解していないことには演出、作曲、美術、照明、音響などのプランは立てられません。そして演技プランもまたしかりです。俯瞰した視点を持ちながら「観客に届けなければならない情報」を紐解いていく、具体的な言葉や方法を用いて研究を進めたいと思います。</p>
<p>ソング 信太美奈(しだみな) 国立音大卒。藤原歌劇団等のオペラ活動と同時期に、細野晴臣氏プロデュースによるグループ「World Standard」のメンバーとして活動。オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、など多様な発声による歌手活動を始める。現在、桐朋学園芸術短期大学教授、昭和音大非常勤講師、歌手、演出家。 【概要】この講座では「感じた事」を歌にするには？を、テーマに講座を進める。</p>	<p>朗読 伊藤克(いとうかつみ) 東京演劇アンサンブル所属。『かもめ』(チェーホフ)や、『ガリレイの生涯』(プレヒト)など代表作多数。NHK アクターズゼミナールを始め指導経歴も豊富。 【概要】日本語の言葉の美しさを大切にし、空間を認識した発声と、テキストの言葉を意識した読み方の基礎的な訓練のための初級講座。</p>

年間受講生 10万円

単発受講生 1コマ1,500円

※定員のある講座もありますので、詳細はお問い合わせください。

※劇作講座のみ全コマセットで8,000円

児演協とは

子どものために演劇を行うプロの専門劇団協同組合。「児童青少年演劇の職業的基盤の確立」、「児童・青少年演劇人の健康と生活の擁護」、「児童青少年演劇に関わる全国的な課題の実現」の三つを目標としている。加盟劇団のジャンルは幅広く、舞台劇、人形劇、影絵劇、パフォーマンスなど多岐にわたります。